

## 体験活動参加型＋園行事参加型（保育園）

学校名等	東白川村立みつば保育園
実施日時	令和元年9月13日（金）
会場	東白川村立みつば保育園
参加人数	祖父母48名＋園児40名
学習課題（分野）	昔遊び・お弁当詰め・プレゼント渡し（祖父母参観）
運営者の願い	今年度は園の重点として、丈夫な体づくりに力を入れており、その基本となる食育を大切にしています。家庭教育学級の目標も「丈夫な体を作ろう。」です。園児にとっての給食は、1日の中でも最も大事な園生活の中心です。今年度の祖父母参観日では栄養士さんや給食の委託業者にご協力を得ながら、“弁当詰め（バイキング）”を始めました。敬老の日も控えて、祖父母の皆さんと楽しく食事をしてほしいです。

### 学 習 の 内 容

#### 1 祖父母が保育参観と保育参加

・年長児は紙風船などの「昔遊び」、年中児は「折り紙」でクジラやキンギョ作り、年少児はブドウなど「季節の果物の工作」を孫の保育参観だけでなく、一緒に制作活動などで実際に保育に参加しました。



#### 2 栄養士さんの献立についての話

・栄養面はもちろんのこと、お弁当箱に詰めやすさ、子ども達の人気メニュー、祖父母の方の嗜好などを意識して煮物などを工夫しました。（唐揚げ、ひじきの煮物、ブロッコリーなどの温野菜、ウインナー、卵焼き、ポテト、オレンジ+持参したおにぎり）



#### 3 園児と一緒にお弁当詰め

・持参したお弁当箱に、美味しいおかずを詰めました。  
・「これは1個。」などと言いながら、おばあちゃんと一緒に楽しく詰めていきます。おじいちゃんも参加もあり、考えながら詰めました。



#### 4 楽しいお弁当タイム

・「給食の味付け（ひじき、サラダ）が良くて美味しかった。」とうれしい話が聞けました。



#### 5 うれしいプレゼント渡し

・各クラスに戻ってから、園児からお礼の作品のプレゼントをおじいちゃん・おばあちゃんに渡しました。

#### <参加者の感想より>

- ・とても楽しい企画でした。子どももおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に考えながらお弁当を詰めていてほほえましかったです。（祖父母）
- ・食品の量も多すぎたり、足りなくなったりしないように、事前に出欠を取り、人数把握をしました。男性にとっては量が少ないので2品ずつとかにする品があってもよかったかも、残菜もゼロになりました。（給食関係者）
- ・子ども達は、いつもの給食と違って走る子もいなくて落ち着いて食べていました。祖父母の方と一緒に食べるよさなのか、まったり座ってゆったり会話を楽しんでいました。（保育士）



岐阜県家庭教育支援条例第7条「子どもの祖父母は家庭の教育力の低下を補うため、保護者と協力しながら、家庭教育に積極的に協力するよう努めるものとする。」とあり、祖父母の役割が明確化されている。

特に、祖父母ならではの関わりの中で、普段の食事では走り回る子ども達も落ち着いて食事をしてきた。子育ての先輩、人生の先輩として、父母とはまた違った力を感じられた。一方、おじいちゃん・おばあちゃんの顔もほころんで、園児の数以上の出席率100%超だった。



村雲園長先生の丈夫な体づくりのために“食育”を重点にしていくという経営方針をもとに、栄養士、給食業者らも巻き込んで保育園が一体となった取り組みだった。

子ども達もおじいちゃん・おばあちゃんと食事を共にする中で、祖父母への思いやりがみられ、ほのぼのとした活動だった。敬老の日を前に、その趣旨を生かした活動があった。